

授業科目 コード		授業科目名	時間表現論			担当教員名	安東 民児
科 目 区 分			配当年次	実施学期	単位	曜日・時間	開設学科・専攻・コース
専門科目 放送・メディア映像専門分野		選択科目	2	前期	2		放送・メディア映像学科
授業のテーマ・概要							
映画・映像は、しばしば機械芸術といわれるが、見方を別にすれば時間芸術ということができる。情報の送り手やコンテンツの創出者にとって「創作の泉」ほど重要なものはない。「創作の泉」とは、言い換えれば「発想力の源泉」である。本講義では映画・映像を中心とした多岐にわたるメディアの諸相のなかから時間表現について学びながら、コンテンツの源泉となる発想力を高め鍛えあうことを目指す。							
授業の目的・到達目標							
本授業の眼目とするのは、一言でいえば「時間表現論」である。広い視野をもったコンテンツ創出者を養成することを目的とし、オリジナリティのある発想力を鍛えあう。							
授業内容・授業スケジュール							
回数	項目	内容（予復習指示等を含む）				使用資料（プリント等）	
1	オリエンテーション	ゼミ概要の説明と質疑応答					
2	造形芸術と時間	視覚に訴える芸術の時間秩序					
3	金閣寺の時間	三島由紀夫の「金閣寺」の時空					
4	不思議の国のアリス	「不思議の国のアリス」の時間(速度という時間)					
5	絵巻にみる源泉①	七百年前のスピード表現					
6	絵巻にみる源泉②	絵巻の時間とアニメの時間、その源泉					
7	光・速度・運動	ジャコモ・パッラ「バルコニーの上をかける少女」から					
8	イコンの記号	イコンの記号の中から時間を読む					
9	絵の不思議	一枚の絵が投げかける“謎”と時間					
10	ぐにゃぐにゃ文字	曲線の時間（漱石の言葉から）					
11	ラス・メニーナス①	ベラスケスの絵を解読する					
12	ラス・メニーナス②	読まれる絵画の時間					
13	自画像の時間	時間錯乱と自己表象					
14	映像的言語	杉山平一の世界から					
15	劇画の音声	劇画の中の「音」と時間					
	(試験)						
履修上の注意・関連科目等							
講義内容をより分かり易くするために、毎回の講義ではパワーポイントを使い要点を提示する。必要に応じプリントや映像、音声を用意する。							
成績評価基準							
項 目	内 容					割合	
平常点	出席日数					20%	
期末試験等						70%	
小テスト						10%	
レポート						%	
その他						%	
教科書・参考書及び辞典等							
〔テキスト〕 授業中に指示する。 〔参考書・その他〕 授業中に指示する。							